

生涯教育研修会報告書

学術部 学発番号 第 12-058 号

平成 25 年 2 月 4 日報告

報告者: 滝本寿史

所属: 綾部市立病院

連絡先: 0773-43-0123

日時: 平成 25 年 1 月 12 日(土) 14:15~17:50

場所: 舞鶴医療センター内地域医療研修センター

行事名: 第 12 回京都北部CDEの会講習会

プログラム 1: 糖尿病教室の活動報告

講師 1: 小原伸之氏(京都医療センター臨床検査科生理学主任)、他 3 名

プログラム 2: 症例検討会

講師 2: 四方泰史氏(あいおい橋四方クリニック院長)

プログラム 3: 楽しくてためになる糖尿病教室の作り方

講師 3: 坂根直樹氏(京都医療センター予防医学研究所所長)

主催: 京都北部CDEの会

共催: 京都CDEの会/京都府看護協会/京都府臨床検査技師会/小野薬品株式会社

全体参加人数: 58 人

京臨技会員: 4 人

以下、内容

プログラム 1「糖尿病教室の活動報告」では、各施設の看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師から教室の参加状況や内容、アンケート結果、教室で工夫されていることなどの発表があった。特に、京都医療センター臨床検査科生理学主任の小原伸之氏の発表は、同じ臨床検査技師の立場から興味のある発表であった。参加人数が 100 人程度あることや、インパクトのある題名で集客力アップという内容が印象に残った。

プログラム 2「症例検討会」では、あいおい橋四方クリニック院長の四方泰史先生が IgG4 関連疾患について、また糖尿病とその後のがん罹患との関連について紹介された。糖尿病と診断されたことのある人はない人に比べ 20~30%ほど、後にがんになりやすくなる傾向がある。特に、男性では肝がん、腎がん、膵がん、結腸がん、胃がん、女性では胃がん、肝がん、卵巣がんがかかりやすい(JPHC Study)。また、多忙な日常業務の中での、貴重な症例を報告された。

最後にプログラム 3 では、京都医療センター予防医学研究所所長の坂根直樹先生が「楽しくてためになる糖尿病教室の作り方」と題して講演された。坂根先生が作成された「まちがい探し」の教材を用いて、実際の糖尿病教室を実演された。「まちがい探し」には、「運動不足解消で血糖値を改善!」「ちょっと一杯には危険がいっぱい」の題名が付けられていた。フロアからの意見をひとつずつ聞き、ディスカッションする型式で進められた。学習援助型の教室作りが、参加者にもわかりやすく、楽しいという内容であった。